

令和3年10月11日(月)午後3時発表

射水市記者発表資料

件

企画展「あっち行け! 禍 一災害の歴史―」の開催について

名

(担当:新湊博物館 学芸係)

このことについて、下記のとおり開催しますので、取材・報道方よろしくお願い申し上げます。

記

〇展覧会

会 期 令和3年10月15日(金)~12月20日(月)

午前9時~午後5時(入館は午後4時30分まで)

休館日 火曜日 (ただし、11月23日(祝)は開館)、11月4日(木)・24日(水)

会 場 当館 企画展示室

内 容 地域の災害の歴史をひもとき、災害と向き合い乗り越える先人たちの姿 や方法のほか、現代の防災・防疫などについて明らかにするもの。詳細 は別添チラシのとおり

※主な展示資料

人骨(小竹貝塚、富山県埋蔵文化センター蔵)、人面墨書土器(太閤山 I 遺跡、 富山県埋蔵文化センター蔵)、腕力ポンプ(射水市消防本部蔵)、避難所用ベッド・間仕切り(射水市蔵)

○関連行事

・体 験 会 参加無料・予約不要

10月24日(日) 災害支援車試乗・放水体験

11 月 7 日 (日) はしご車試乗・放水体験

時間及び会場;いずれも13:00~15:00、当館東側駐車場

記念講演会 聴講無料・要事前申込

11月19日(金)「雪に関する防災気象情報」

講師;富山地方気象台 気象情報官 大江 幸治 氏

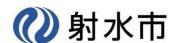
11月28日(日)「富山県の地震情報」

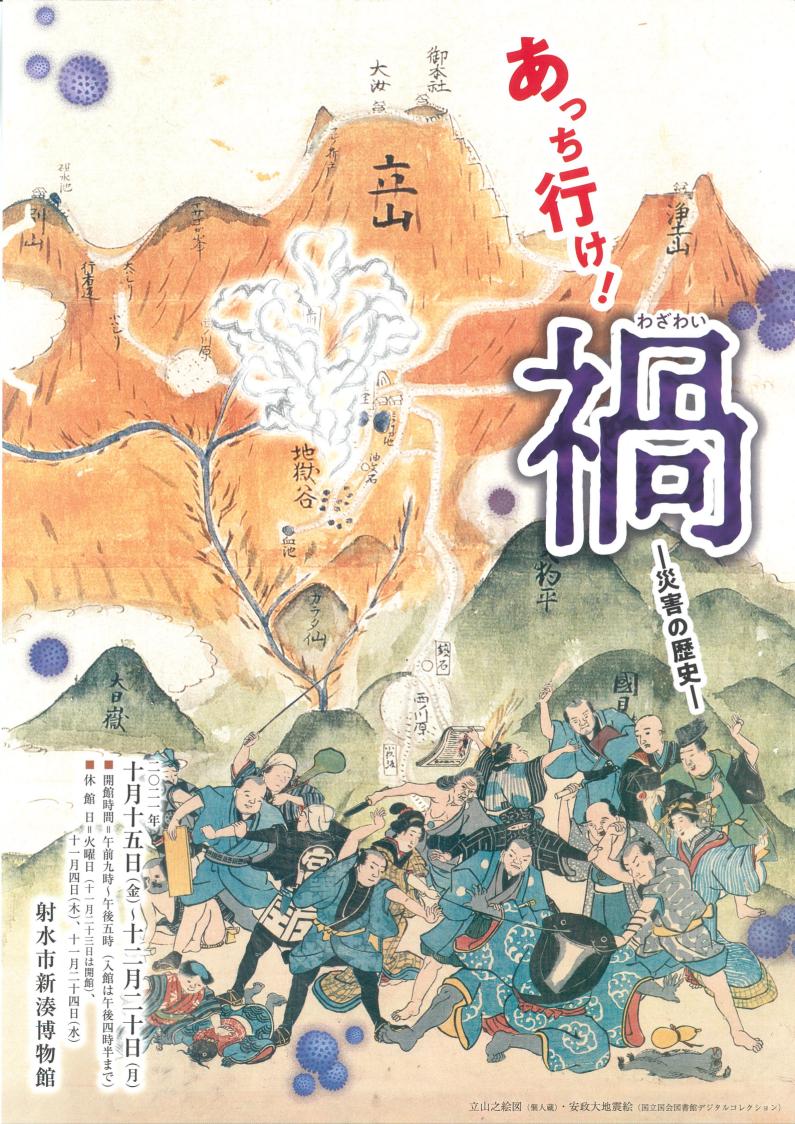
講師;富山県立山カルデラ砂防博物館 学芸課長補佐 丹保 俊哉 氏時間及び会場;いずれも13:30~14:30、当館ガイダンスルーム

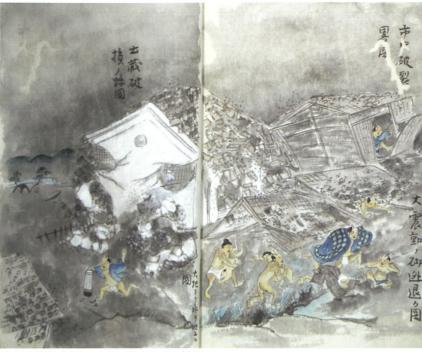
担当

問合せ先

射水市新湊博物館 学芸係 学芸員 加治 TEL 0766-83-0800/FAX 0766-83-0802 E-mail: hakubutsu@city.imizu.lg.jp







主な展示資料

(小竹貝塚)

講師

(部分:安政五年大地震の様子) 地水見聞録 富山県立図書館蔵

人面墨書士器 (太閤山王遺跡) 避 冨山県埋蔵文化財センタ 難 力 パポンプ 所 用 水市消防本部蔵 ッド



射水市最大のはしご車



大雨非常之洪水新川郡常願寺筋総変地所見取絵図 (安政五年大地震による常願寺川氾濫範囲) 高樹文庫 重要文化財

ました。

ます。

10月24日(日)

11月7日(日) 災害支援車試 各日13時~15時 乗・ 放水体験

記念講演会 当館駐車場

各日13時~15

11 月 28 日 11月19日(金) 講師 富山地方気象台 気象情報官 雪に関する防災気象情報_

大江

幸治氏

各会13時30分~14時30分 学芸課長補佐 富山県立山カルデラ砂防博物館 富山県の地震情報 丹保

俊哉氏

題

郵便・Eメール・FAX

当館ガイダンスルー

定員20名

要申込

申込方法 申込締切

案

■交通案内

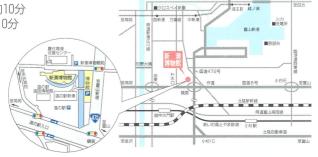
※申込多数の場合抽選 10月31日(日)

間仕切り

- ・万葉線中新湊駅からタクシーで約6分
- ・あいの風とやま鉄道小杉駅からタクシーで約10分
- ・北陸道小杉I.C.から国道472号を北へ車で約10分
- *道の駅「カモンパーク新湊」北側に隣接

■観覧料	※障がいのある方の付添 1 名無料	
区分	個人	団体(20名以上)
一 般	310円	250円
65歳以上又は 障がいのある方	150円	120円
中学牛以下	無料	

---「孫とおでかけ支援事業」対象施設です



今後の展覧会

然条件から、

発台

災害の歴史

今日の暮らしの礎を築いてき先人たちは、幾多の災害や伝生しやすい国です。これまで生しやすい国です。これまで

っち行け!

あなたも名探偵‼ 一博物館の不思議な道具―

令和4年 1月5日(水) ~2月13日(日)

当館では新型コロナウイルス感染症の拡大に取り組みながら開館しております。ご来館の際は、マスクの着用、手指消毒、検温など感染防止の取り組みに ご協力ください。また、新型コロナウイルス感染状況により臨時休館やイベントを中止する場合がありますので、あらかじめホームページ等でご確認ください。